

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の高速実験炉（常陽）の運転計画の記載事項に関する面談

2. 日時：令和4年3月18日（金）10時30分～11時15分

3. 場所：原子力規制庁 2階会議室 ※一部出席者はテレビ会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 核燃料施設等監視部門

石井主任監視指導官、宮坂原子力運転検査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 技術主席、他1名

5. 要旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）と、令和4年1月28日付けで届出のあった高速実験炉（常陽）に係る運転計画（以下「本届出」という。）に対し、令和4年3月8日に実施した面談で原子力規制庁から説明を求めたことに関して、以下のとおり面談を実施した。

（1）原子力機構から、配付資料に基づき説明があったが、原子力規制庁から、本届出の記載事項を改めて確認し、法令や設置許可申請書の内容に照らしたものになるように記載の適正化を行うよう伝えた。

（2）原子力機構から、記載を適正化し、速やかに変更届を行いたい旨回答があった。

6. 配付資料

・燃料体、使用済燃料の記載に関する説明書